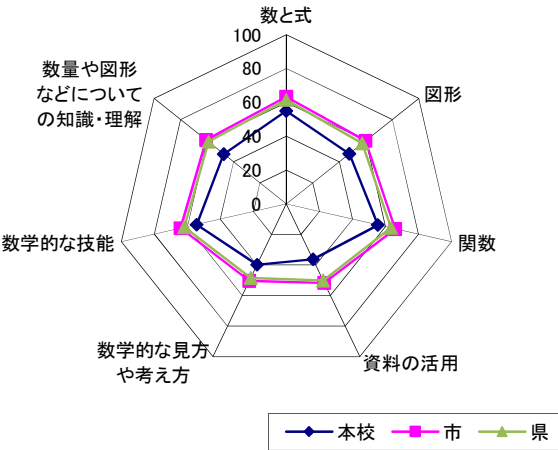


宇都宮市立田原中学校 第2学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	55.0	63.3	61.5
	図形	47.6	59.8	57.4
	関数	55.5	65.9	63.4
	資料の活用	36.2	51.7	50.1
観点	数学的な見方や考え方	39.8	50.4	48.5
	数学的な技能	54.4	64.1	61.9
	数量や図形などについての知識・理解	47.2	60.6	58.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	この領域では本校の正答率が55.0%で県平均正答率に対し6.5ポイント下回っている。 ○一次方程式を解く問題では、8割近くの正答率がみられる。 ●文字式の計算の計算や不等式の数量関係を正しく表したものを選ぶ問題において、県平均正答率と比べ10ポイント以上低い状況がみられる。	・理解した学習内容を繰り返し復習したり、演習したりする時間の不足が考えられる。授業の中で問題演習の時間を確保し、基礎的・基本的な内容の理解に努めたい。 ・日常生活の中にある数学的な事象を取り上げて、思考力を高めるよう工夫したい。
図形	この領域では本校の正答率が47.6%で県平均正答率に対し9.8ポイント下回っている。 ○立体の投影図が表す見取り図を選ぶ問題では9割近くの正答率がみられる。 ●円柱の展開図で、側面の横の長さを求める問題や三角柱と三角錐の関係を正しく述べた文を選ぶ問題において、市の平均正答率より15ポイント以上低い状況がみられる。また、作図においても課題がみられる。	・垂直二等分線や角の二等分線がどんな点の集まりなのかを理解させることで、課題解決に適した作図法が選択できるようにしたい。 ・導入の工夫や具体物を提示するなどして、生徒の興味関心を高め、基礎基本の知識を定着させたい。
関数	この領域では本校の正答率が55.5%で県平均正答率に対し7.9ポイント下回っている。 ●座標に与えられた点を記入する問題や6000m地点に到着するまでの時間の差を求める問題において、県平均正答率より10ポイント程度低い状況がみられる。また、比例のグラフから式を求める問題においても課題がみられる。	・関数では、ともなって変わる2つの数量の関係を理解するのに時間がかかり苦手意識をもつ生徒が多い。座標を求めたり、グラフをかいたり、比例や反比例の式を求めるといった基礎的・基本的な内容の理解に時間をかけ、定着を図りたい。
資料の活用	この領域では本校の正答率が36.2%で県平均正答率に対し13.2ポイント下回っている。 ●どの問題においても、県平均正答率より10ポイント以上低い状況がみられる。また、ヒストグラムから記録のよい選手を選び理由を説明する問題では、正答率が1.9%と低い状況がみられる。	・生徒の興味関心を高めるために、身近にある資料で、度数分布表を作成したり、ヒストグラムをかいたりしたい。また、平均値や中央値、最頻値を求めたりする学習をとおして、基礎・基本の定着を図りたい。